

## 条例の点検・見直しシート

		作成年月日	平成24年6月20日
条例の題名	三重県妊婦健康診査支援基金条例	公布日	平成21年3月6日
条例番号	平成21年三重県条例第5号	直近改正日	平成23年3月23日
所管部局課	健康福祉部子ども・家庭同子育て支援課	電話番号	059-224-2248
条例の概要	国から交付される妊婦健康診査臨時特例交付金により、妊婦健康診査支援基金を設置し、市町における妊婦健康診査事業の円滑な推進をはかる		条例の 類型 財産管理型
視点	項 目	回 答	検 討 内 容
必要性	条例の目的は、制定後の時間の経過にかかわらず現在でも妥当性を有している。	はい	国が定める「平成20年度妊婦健康診査臨時特例交付金(妊婦健康診査支援)交付要綱」により、事業の円滑な運用を図るための財源を確保する必要から、交付金を基金として管理する条例の目的は、妥当性を有している。
	条例の対象に対して、今後も公的な関与を行っていく必要が認められる。	はい	基金の設置等に関する事項は、地方自治法第241条第1項の規定により、条例で定めることが必要であり、今後も市町における妊婦健康診査事業の円滑な推進に資するために、公的な関与を行っていく必要がある。
	条例に基づく事務・事業で、現在行われていないものはない。	はい	県内全市町において妊婦健康診査が実施されている。
	規制型の場合、現在の社会情勢の下で過度な規制となっていない。	該当なし	
	条例以外の手段で目的を達成する方法はない(規則、要綱等で規定する余地はない。)	はい	基金の設置等に関する事項は、地方自治法第241条第1項の規定により、条例で定めることが必要である。
適法性	根拠法令がある場合、その法令に抵触していない。	はい	地方自治法第241条第1項
	憲法、その他の法令等に抵触しているとの評価を受けるおそれはない(近年の判例動向に適合している。)	はい	
	条例に規定する事務手続と実務上の事務手続との間に食い違いはない。	はい	
有効性	条例の目的と条例に規定する手段との整合が図られている。	はい	
	条例の目的は、県民力ビジョン等と整合している。	はい	
	条例の規定の一部であっても、効果を疑問視する評価を受けたことはない。	はい	
	条例の規定の一部であっても、廃止した場合に明らかな支障が認められる。	はい	効力及び経過措置の規定あり
効率性	条例の目的の実現のために、条例が定める手段は必要であって、廃止すべき規定はない。	はい	
	条例の目的の実現のために、条例が定める手段は十分であって、追加すべき規定はない。	はい	
	関係する法令・条例との間において、条例に規定している手段との重複はない。	はい	
公平性	条例の執行に当たって、その効果及びコストの配分は適正である。	はい	
	条例の執行による効果が一部の県民に限られていない。	はい	
	条例の執行に伴うコストの負担が一部の県民に限られていない。	はい	
その他	条例の内容において、県民(団体)、NPO等県以外の主体との連携に配慮している。	該当なし	
	市町等から条文の改正を求める意見を受けていない。	いいえ	期間延長の要望がでている。

点検・見直し結果	改正・廃止の必要はない	理 由	特 記 事 項	見直しに関する規定の有無	有効期限に関する規定の有無
		現在の規定は、要件のいずれをも満たし、改正の必要がないと考える。	現在の規定は、事業に係る財源運用規定のため、継続性が求められていることから国の運用方針に従い経過措置等にかかる見直しが必要となる可能性がある。	無	有